

2日目：7月10日（土）プログラム

A 会場（3F グランデ I）

8:50～10:10 シンポジウム 3【National Clinical Database におけるデータ活用】

抄録 P. 83

座長：加藤 則人（京都府立医科大学 皮膚科）
古賀 弘志（信州大学 皮膚科）

SY3 National Clinical Database を基盤としたデータ利用・臨床研究

隈丸 拓（くままる ひらく）
東京大学 医療品質評価学講座

10:10～11:40 スポンサーシンポジウム【メラノーマの治療戦略-手術療法から進行期の薬物療法まで】

抄録 P. 87

座長：山崎 直也（国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科）
大津 敦（国立がん研究センター東病院 病院長）

SSY-1 メラノーマの治療戦略-外科療法のコンセプトと将来展望-

松下茂人（まつした しげと）
鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科

SSY-2 免疫チェックポイント阻害剤のインフォームドコンセント

大塚篤司（おおつか あつし）
近畿大学 皮膚科

SSY-3 メラノーマの術後補助療法、現在とこれから

並川健二郎（なみかわ けんじろう）
国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

SSY-4 進行期メラノーマ薬物療法の最新データとエビデンス

中村泰大（なかむら やすひろ）
埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科

共催：小野薬品工業株式会社/ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

座長：竹之内辰也（新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科）
野田 哲生（がん研究会がん研究所 所長）

LS5-1 BRAF 阻害薬+MEK 阻害薬における眼障害マネジメント

鈴木茂伸（すずき しげのぶ）
国立がん研究センター中央病院 眼腫瘍科

LS5-2 BRAF 陽性メラノーマの治療戦略

—当院での治療経験を踏まえて—

高橋 聡（たかはし あきら）
国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

共催：小野薬品工業株式会社

オーガナイザー：大塚 幹夫（福島県立医科大学 皮膚科）/吉野 正（岡山大学 病理学）
コメンテーター：菅野 祐幸（信州大学 病理組織学）/中村 直哉（東海大学 病理診断学）
宮垣 朝光（聖マリアンナ医科大学 皮膚科）/濱田 利久（高松赤十字病院 皮膚科）

CPC-1 Squamous Cell Carcinoma (SCC) ? Hodgkin リンパ腫? Anaplastic Large Cell Lymphoma (ALCL) ?

日野治子^{1,2}（ひの はるこ）、大原國章²、三浦圭子³、中馬久美子¹、鑑 慎司¹
¹関東中央病院 皮膚科、²赤坂虎の門クリニック 皮膚科、³東京医科歯科大学 病理部

CPC-2* 口腔内と食道に潰瘍性病変を呈した CD30 陽性菌状息肉症の 1 例

田中亮多^{1,4}（たなか りょうた）、福菌真生¹、久保田典子¹、中村貴之¹、藤澤康弘¹、
松岡亮太²、田口詩路麻³、乃村俊史¹
¹筑波大学 皮膚科、²筑波大学 病理診断科、³水戸協同病院 皮膚科、
⁴水戸済生会総合病院 皮膚科

CPC-3 背部の限局した領域に浸潤局面と腫瘤を認めた原発性皮膚 CD4 陽性小・中型 T 細胞リンパ増殖症の 1 例

田中美穂¹（たなか みほ）、宮垣朝光¹、望月俊彦¹、竹内そら¹、門野岳史¹、佐藤典子²、
秋田知子²
¹聖マリアンナ医科大学 皮膚科、²公立阿伎留医療センター

CPC-4 B 細胞リンパ腫を疑った経過中に Peripheral T-cell lymphoma, not otherwise specified と診断した 1 例

井上栄美（いのうえ えみ）、坂本幸子、花岡佑真、清原英司、藤本 学
大阪大学 皮膚科

B 会場 (3F グランデⅡ)

8:50~10:10 教育講演 4 【治療前スクリーニングとフォローアップの実際】

抄録 P. 71

座長：爲政 大幾 (大阪国際がんセンター 皮膚腫瘍科)
内 博史 (九州がんセンター 皮膚腫瘍科)

EL4-1 有棘細胞がんアップデート 診断からフォローアップまで

加藤裕史 (かとう ひろし)
名古屋市立大学 皮膚科

EL4-2 皮膚の肉腫～スクリーニングとフォローアップ～

福島 聡 (ふくしま さとし)
熊本大学 皮膚科

10:20~11:40 教育講演 5 【がん診療に活かすコミュニケーション】

抄録 P. 73

座長：佐野 栄紀 (高知大学 皮膚科)
澤村 大輔 (弘前大学 皮膚科)

EL5-1 がん診療に活かすコンフリクト対応術

永井弥生 (ながい やよい)
オフィス風の道 代表/利根中央病院 皮膚科

EL5-2 緩和ケアの臨床でコミュニケーションを処方する「優しさを伝えるケア技術・ユマニチュード」入門

本田美和子 (ほんだ みわこ)
東京医療センター 総合内科

11:50~12:50 ランチョンセミナー 6【BRAF 遺伝子変異を有する悪性黒色腫～エビデンスとリアルワールドの両面からみた治療戦略～】

抄録 P. 102

座長：島田 眞路 (山梨大学 学長)
爲政 大幾 (大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科)

LS6-1 エビデンスから紐解く本邦の BRAF 陽性メラノーマに対する治療戦略

吉川周佐 (よしかわ しゅうすけ)
静岡県立静岡がんセンター 皮膚科

LS6-2 BRAF 陽性メラノーマの治療選択と副作用マネジメント

伊東孝通 (いとう たかみち)
九州大学 皮膚科

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

座長：山崎 直也（国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科）

木庭 幸子（信州大学 皮膚科）

コメンテーター：吉川 周佐（静岡がんセンター 皮膚科）

竹之内辰也（新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科）

WS1 悪性黒色腫心臓転移、開胸摘出後の術後補助療法中に間質性肺炎、サイトメガロウイルス感染症を合併した 1 例

名嘉眞健太¹（なかま けんた）、筒井啓太¹、陣内駿一¹、緒方 大¹、並川健二郎¹、高橋 聡¹、嶋田晶江²、天野 篤²、山崎直也¹

¹国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、²順天堂大学順天堂医院 心臓血管外科

WS2 ニボルマブ投与後に irAE として 1 型糖尿病を発症した悪性黒色腫の 2 例

鈴木華織¹（すずき かおり）、石川秀幸¹、水野雄斗¹、鹿毛勇太¹、渡邊裕子¹、赤松遼一²、寺内康夫²、猪又直子¹

¹横浜市立大学 皮膚科、²横浜市立大学 内分泌・糖尿病内科

WS3 ニボルマブ・イピリムマブ併用療法によって末梢神経障害を含めた多様な免疫関連副作用を来した 1 例

佐々木仁¹（ささき じん）、松井 悠²、高塚純子³、竹之内辰也³、五十川瑞穂⁴、高橋英明⁴、丸山紘貴⁵、田村悠紀子⁶

¹新潟大学医歯学総合病院 皮膚科、²富山大学 皮膚科、

³新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科、⁴新潟県立がんセンター新潟病院 脳神経外科、

⁵新潟県立中央病院 消化器内科、⁶新潟県立中央病院 脳神経内科

WS4 免疫チェックポイント阻害薬にて胆汁うっ滞型肝障害を認めた鼻腔悪性黒色腫の 1 例

田中 了¹（たなか りょう）、西紋禮士²、浦上揚介¹、山根万里子¹、西村広健³、福田裕次郎⁴、余田栄作⁵、佐野史典⁶、青山裕美¹

¹川崎医科大学 皮膚科、²川崎医科大学 肝胆膵内科、³川崎医科大学 病理学、

⁴川崎医科大学 耳鼻咽喉科、⁵川崎医科大学 放射線科（治療）、⁶川崎医科大学 臨床腫瘍科

WS5* 肝障害によってニボルマブ・イピリムマブ併用療法を中断し、14 ヶ月後の再投与が奏効した悪性黒色腫の 1 例

二瓶達也（にへい たつや）、高沢裕子、鈴木里香、勝家志歩、面高俊和、木庭幸子、奥山隆平

信州大学 皮膚科

総合レクチャー irAE マネジメントにおけるステロイド・免疫抑制薬の使い方

峯村信嘉（みねむら のぶよし）

三井記念病院 総合内科

座長：堤田 新 (がん研有明病院 皮膚腫瘍科・皮膚科)
緒方 大 (国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科)

C-5-1 進行期メラノーマに対するファーストラインでのニボルマブ・イピリムマブ併用療法の効果についての検討

藤澤康弘¹ (ふじさわ やすひろ)、並川健二郎²、前川武雄³、吉野公二⁴、木庭幸子⁵、伊東孝通⁶、加藤裕史⁷、松下茂人⁸、寺本由紀子⁹、吉川周佐¹⁰

¹筑波大学、²国立がん研究センター中央病院、³自治医科大学、
⁴がん・感染症センター都立駒込病院、⁵信州大学、⁶九州大学、⁷名古屋市立大学、
⁸鹿児島医療センター、⁹埼玉医科大学国際医療センター、¹⁰静岡がんセンター

C-5-2 末端黒子型黒色腫への PD-1 抗体と PD-1 + CTLA-4 抗体併用の効果比較— JAMP neo study

木庭幸子¹ (きにわ ゆきこ)、加藤裕史²、山崎 修³、前川武雄⁴、松下茂人⁵、竹之内辰也⁶、中井康雄⁷、猪爪隆史⁸、福島 聡⁹、中村泰大¹⁰

¹信州大学 皮膚科、²名古屋市立大学 皮膚科、³岡山大学 皮膚科、⁴自治医科大学 皮膚科、
⁵鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科、⁶新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科、
⁷三重大学 皮膚科、⁸千葉大学 皮膚科、⁹熊本大学 皮膚科、
¹⁰埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科

C-5-3 粘膜悪性黒色腫への PD-1 抗体と PD-1 + CTLA-4 抗体併用の効果比較— JMAC study

山崎 修¹ (やまさき おさむ)、爲政大幾²、齋藤晋太郎³、大塚篤司⁴、野村基雄⁵、田中 了⁶、松谷泰祐⁷、馬場夏希⁸、藤本徳毅⁹、中村泰大¹⁰

¹岡山大学 皮膚科、²大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科、³群馬大学 皮膚科、
⁴京都大学 皮膚科、⁵京都大学 腫瘍内科、⁶川崎医科大学 皮膚科、⁷旭川医科大学 皮膚科、
⁸福井大学 皮膚科、⁹滋賀医科大学 皮膚科、
¹⁰埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科

C-5-4 進行期末端黒子型・粘膜型黒色腫への抗 PD-1 抗体無効後二次治療効果に関する多施設共同研究

前川武雄¹ (まえかわ たけお)、木庭幸子²、山崎 修³、永瀬浩太郎⁴、大沼毅紘⁵、鍛塚 大⁶、金子高英⁷、大西正純⁸、寺本由紀子⁹、中村泰大⁹

¹自治医科大学 皮膚科、²信州大学 皮膚科、³岡山大学 皮膚科、⁴佐賀大学 皮膚科、
⁵山梨大学 皮膚科、⁶長崎大学 皮膚科、⁷順天堂大学浦安病院 皮膚科、
⁸岩手医科大学 皮膚科、⁹埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科

C-5-5 進行期悪性黒色腫に対して免疫チェックポイント阻害剤投与により完全奏効を達成した後に休薬を行った 4 例

武藤雄介 (むとう ゆうすけ)、藤村 卓、神林由美、古舘禎騎、大内謙太郎、天貝 諒、千葉広夢、大熊崇生、橋本 彰、相場節也

東北大学 皮膚科

C-5-6 抗 PD-1 抗体による完全奏効後の予後に関する後方視的研究

加藤潤史¹ (かとう じゅんじ)、並川健二郎²、上原治朗³、野村基雄⁴、中村泰大⁵、
宇原 久¹、内 博史⁶、吉川周佐⁷、木庭幸子⁸、山崎直也²

¹札幌医科大学 皮膚科、²国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、
³がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科、⁴京都大学 腫瘍内科、
⁵埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科、⁶九州がんセンター 皮膚腫瘍科、
⁷静岡県立静岡がんセンター 皮膚科、⁸信州大学 皮膚科

9:45~10:45 一般演題 16 【リンフォーマ (3)】

抄録 P. 135

座長：濱田 利久 (高松赤十字病院 皮膚科)
藤井 一恭 (鹿児島大学 皮膚科)

C-6-1* 前額部の皮下腫瘍を契機に診断された副鼻腔原発 diffuse large B cell lymphoma (DLBCL) の 1 例

桜井隆喜¹ (さくらい たかよし)、李 殷先¹、小林香映¹、張田修平¹、岩橋ゆりこ¹、
田代康哉¹、渡辺秀晃¹、末木博彦¹、塩沢英輔²

¹昭和大学 皮膚科、²昭和大学 臨床病理診断科

C-6-2* 蜂窩織炎様の皮膚症状を呈し、血管内病変を認めた CD5 陽性びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の 1 例

久保仁美¹ (くぼ ひとみ)、諏訪 学¹、植松望武²

¹長野赤十字病院 皮膚科、²長野赤十字病院 血液内科

C-6-3 結節性紅斑様の皮疹を呈した血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫の 1 例

伊丹綾香¹ (いたみ あやか)、宮垣朝光¹、宮野 薫¹、竹内そら¹、上村 悠²、門野岳史¹

¹聖マリアンナ医科大学 皮膚科、²聖マリアンナ医科大学 血液内科

C-6-4 芽球性形質細胞様樹状細胞様腫瘍の 1 例

大黒督子 (おおぐろ とくこ)、中島英貴、佐野栄紀

高知大学

C-6-5 急速に増大する頭部皮膚腫瘍で発症した芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍の 1 例

米倉健太郎¹ (よねくら けんたろう)、上塘葉子¹、武田浩一郎¹、玉井真理子¹、

佐藤浩子¹、田代幸恵²

¹今村総合病院 皮膚科、²今村総合病院 病理診断科

C-6-6* 予後不良マーカーを示した頬部 DLBCL に対して姑息的腫瘍切除術と皮弁形成術が奏功した 1 例

加太美保 (かぶと みほ)、前田泰広、國府 拓、藤本徳毅

滋賀医科大学 皮膚科

C-6-7 繰り返す口唇腫脹を契機に診断に至った有毛細胞白血病の 1 例

芦田日美野¹ (あしだ ひみの)、三宅智子¹、住居優一²、立花宏太¹、川上佳夫¹、

田中健大³、高橋孝英⁴、西森久和²、吉野 正³、森実 真¹

¹岡山大学 皮膚科、²岡山大学 血液・腫瘍内科、³岡山大学 病理診断科、⁴岡山大学 検査部

- C-6-8*** 皮膚病変が診断の契機となった慢性リンパ球性白血病の1例
 北村昇矢¹ (きたむら しょうや)、木庭幸子¹、川上史裕²、岩谷 舞³、上原 剛³、
 浅野直子³、福澤正男⁴、奥山隆平¹
¹信州大学 皮膚科、²信州大学 血液内科、³信州大学 病態解析診断学、
⁴伊那中央病院 皮膚科

11:50~12:50 ランチョンセミナー7

抄録 P. 104

座長：山崎 直也 (国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科)

LS7 メルケル細胞癌におけるリアルワールドデータ

清原祥夫 (きよはら よしお)
 静岡県立静岡がんセンター支持療法センター・皮膚科

共催：メルクバイオファーマ株式会社/ファイザー株式会社

13:00~13:30 一般演題 22 【SCC、ボーエン病】

抄録 P. 137

座長：上原 治朗 (がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科)
 岸 晶子 (虎の門病院 皮膚科)

C-7-1 砒素ミルク中毒被災者に生じた多発 Bowen 病

長谷川道子¹ (はせがわ みちこ)、齋藤龍一²、田村敦志¹
¹伊勢崎市民病院 皮膚科、²産業医科大学 皮膚科

C-7-2 当院における手術困難なボーエン病患者に対するイミキモド外用療法の検討

岩下宜彦 (いわした のぶひこ)、高間寛之、大嶋雄一郎、安藤与里子、渡辺大輔
 愛知医科大学 皮膚科

C-7-3* Indomethacin と Imiquimod 外用で加療した有棘細胞癌の1例

村田 浩^{1,2} (むらた ひろし)
¹長野市民病院 皮膚科、²信州大学

C-7-4* 頭部に日光角化症、有棘細胞癌、基底細胞癌を併発しイミキモドクリーム外用で治療した1例

長岡麻美 (ながおか あさみ)、伊崎聡志、藤田英樹
 日本大学 皮膚科

13:35~14:25 一般演題 23 【BCC】

抄録 P. 138

座長：黒川 正人 (熊本赤十字病院 形成外科)
 清澤 智晴 (防衛医科大学校 形成外科)

C-8-1 初診より15年後に対側のリンパ節転移を来した基底細胞癌の1例

後藤寛之 (ごとう ひろゆき)、吉田雄一、杉田和成、山元 修
 鳥取大学 皮膚科

C-8-2***腹壁浸潤が疑われた腹部基底細胞癌の1例**

安井由希子¹ (やすい ゆきこ)、加藤裕史¹、中村元樹¹、小田隆夫¹、佐藤秀吉²、
廣川高久³、森田明理¹

¹名古屋市立大学 皮膚科、²名古屋市立大学 形成外科、³名古屋市立大学 消化器外科

C-8-3**顔面基底細胞癌に対する PET-CT 検査**

黒川正人 (くろかわ まさと)、新井清信

熊本赤十字病院 形成外科

C-8-4**両側腋窩と鼻根部に生じた基底細胞癌の1例**

遠藤麻衣 (えんどう まい)、高田満喜、渡邊幸奈、大塚幹夫、山本俊幸

福島県立医科大学 皮膚科

C-8-5**再発を繰り返し上顎骨、眼窩内に浸潤した基底細胞癌の1例**

高木信介 (たかぎ しんすけ)、上塘彩子、田村 聡、村上尚来、門松香一

昭和大学 形成外科

C-8-6**左側頭部の皮下組織に広範に浸潤した基底細胞癌の1例**

横山恵美 (よこやま めぐみ)、須山孝雪、西村季紘、杉田 淳、片桐一元

獨協医科大学埼玉医療センター

8:50~9:50 一般演題 17 【附属器腫瘍 (1)】

抄録 P. 148

座長：浅井 純 (京都府立医科大学 皮膚科)
山本 有紀 (和歌山県立医科大学 皮膚科)

D-5-1 右腋窩に生じた巨大毛母癌の 1 例

阪口有里¹ (さかぐち ゆり)、小森崇矢¹、遠藤雄一郎¹、八木洋輔²、大塚篤司¹、椛島健治¹
¹京都大学、²大阪赤十字病院

D-5-2* 頸部原発悪性石灰化上皮腫の 1 例

山川浩平¹ (やまかわ こうへい)、小村 豪¹、高野智誠¹、伊東明子¹、小林謙也¹、
森 泰昌²、吉本世一¹
¹国立がん研究センター中央病院 頭頸部外科、²国立がん研究センター中央病院 病理診断科

D-5-3* 初回切除時に毛母腫の診断であったが再発し、悪性毛母腫の診断に至った 1 例

杉本貴子 (すぎもと あつこ)、石井暢明、秋元正宇
日本医科大学千葉北総病院

D-5-4 深部の病変が優位であった頬部エクリン汗孔癌の 1 例

翠川央高¹ (みどりかわ ひろたか)、坂井柚季¹、大澤香奈¹、白井拓史¹、佐野 佑¹、
面高俊和¹、皆川 茜¹、木庭幸子¹、安齋眞一²、奥山隆平¹
¹信州大学 皮膚科、²日本医科大学武蔵小杉病院

D-5-5 神経内分泌性の悪性汗器官腫瘍：低異型度の EMCSGC と高異型度のアポクリン癌

三浦圭子¹ (みうら けいこ)、本間 勉²、酒井康弘³
¹東京医科歯科大学 病理部・病理診断科、²東京医科歯科大学 形成・美容外科、
³藤田医科大学 病理診断学講座

D-5-6 パクリタキセルとタモキシフェンによる内分泌化学療法が奏効した低異型度皮膚神経内分泌癌の 2 例

立花宏太¹ (たちばな こうた)、大江秀一¹、益田知可子¹、後藤啓介²、福田健児³、
正畠千夏⁴、爲政大幾¹
¹大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科、²大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科、
³東大阪医療センター 形成外科、⁴奈良県立医科大学 皮膚科

D-5-7* Primary cutaneous cribriform carcinoma の 1 例

佐竹宏介¹ (さたけ こうすけ)、後藤啓介²、佐々木庸介¹、吉川周佐¹、清原祥夫¹
¹静岡県立静岡がんセンター 皮膚科、²静岡県立静岡がんセンター 病理診断科

D-5-8* 耳下腺リンパ節に転移した側頭部アポクリン腺癌の 1 例

上塘彩子 (かみとも あやこ)
昭和大学藤が丘病院 形成外科

座長：清水 忠道 (富山大学 皮膚科)
田村 敦志 (伊勢崎市民病院 皮膚科)

D-6-1* 頭部 microcystic adnexal carcinoma 術後局所再発に対してガンマナイフ治療後に放射線脳壊死を来した 1 例

中山裕一¹ (なかやま ゆういち)、北川敬之¹、豊増 泰²、近藤 誠¹、中井康雄¹、波部幸司¹、山中恵一¹

¹三重大学 皮膚科、²三重大学 放射線治療科

D-6-2 耳下腺リンパ節転移を伴った Primary cutaneous mucinous carcinoma の 1 例

水田栄樹 (みずた はるき)、羽多野隆治、藤川平四朗、元村尚嗣

大阪市立大学 形成外科

D-6-3 当科における脂腺癌のまとめ

森 龍彦 (もり たつひこ)、山本俊幸

福島県立医科大学 皮膚科

D-6-4 In transit 転移を伴った Aggressive Digital Papillary Adenocarcinoma の 1 例

大野文嵩 (おおの ふみたか)、大野麻衣子、伊東孝通、中原剛士

九州大学 皮膚科

D-6-5 Primary signet-ring cell/histiocytoid carcinoma of the axilla の 3 例

八尋知里 (やひろ ちさと)、田中菜々子、中谷祥子、高井利浩

兵庫県立がんセンター 皮膚科

D-6-6 背部に生じた巨大な microcystic adnexal carcinoma の 1 例

千葉広夢¹ (ちば ひろむ)、神林由美¹、斉藤美有¹、千葉倫子¹、玉淵恵里佳¹、藤村 卓¹、橋本 彰¹、相場節也¹、田畑伸子²、綿貫宗則³

¹東北大学 皮膚科、²仙台赤十字病院 皮膚科、³東北大学 整形外科

D-6-7* 上腹部に生じた Primary cutaneous adenoid cystic carcinoma の 1 例

岡 優実¹ (おか ゆみ)、神保晴紀¹、北尾陸将¹、福本 毅¹、国定 充¹、錦織千佳子¹、住友洋之²

¹神戸大学 皮膚科、²北須磨病院 外科

座長：永瀬浩太郎（佐賀大学 皮膚科）

松本 和彦（信州大学附属病院臨床研究支援センター）

D-7-1 メルケル細胞癌におけるメルケル細胞ポリオーマウイルス感染の有無と免疫活性について中村元樹¹（なかむら もとぎ）、永瀬浩太郎²、小林忠弘³、寺本由紀子⁴、安田正人⁵、和田秀文⁶、小澤俊幸⁷、梅森幸恵⁸、緒方 大⁹、森田明理¹¹名古屋市立大学 皮膚科、²佐賀大学 皮膚科、³金沢大学 皮膚科、⁴埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科、⁵群馬大学 皮膚科、⁶横浜市立大学 皮膚科、⁷大阪市立大学 皮膚科、⁸長岡赤十字病院 皮膚科、⁹埼玉医科大学 皮膚科**D-7-2** メルケル細胞癌の疫学および臨床病理学的特徴：本邦報告例 847 例の解析鶴田成二¹（つるた せいじ）、永瀬浩太郎¹、凌 太郎¹、井上卓也¹、佐藤景子²、大仁田史子²、高守史子²、成澤 寛¹¹佐賀大学 皮膚科、²佐賀大学 臨床研究センター**D-7-3** 近畿大学病院で手術加療を行ったメルケル細胞癌 20 例の検討伊谷善仁^{1,2}（いたに よしひと）、岡橋一憲¹、柳原茂人¹、大磯直毅¹、磯貝典孝²、川田 暁¹¹近畿大学 皮膚科、²近畿大学 形成外科**D-7-4** 血管免疫芽球性 T 細胞リンパ腫を併発したメルケル細胞癌患者へ avelumab が奏効した 1 例宮里太郎¹（みやさと たろう）、武藤一考¹、森重 聡²、名嘉真武国¹¹久留米大学 皮膚科、²久留米大学 血液内科**D-7-5** 根治切除不能なメルケル細胞癌に対するアベルマブ治療の特定使用成績調査（全例調査）の中間報告（続報）清原祥夫¹（きよはら よしお）、宇原 久²、佐藤聖士³、遠藤シェーラ⁴、宋 冰冰³、田中悠太郎⁵、神戸 杏⁵、山崎直也⁶¹静岡県立静岡がんセンター 皮膚科、²札幌医科大学 皮膚科、³メルクバイオファーマ株式会社 研究開発本部、⁴同 ペイシエントセーフティ、⁵同 メディカル本部、⁶国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

座長：河井 一浩（木戸病院 皮膚科）

戸倉 新樹（中東遠総合医療センター、浜松医科大学 名誉教授）

LS8-1 皮膚 T 細胞性リンパ腫治療におけるベキサロテンの役割

濱田利久（はまだ としひさ）

高松赤十字病院 皮膚科

LS8-2 皮膚T細胞性リンパ腫に対する光線療法とベキサロテン併用療法の留意点と臨床研究結果

森田明理 (もりた あきみち)
名古屋市立大学 皮膚科

共催：株式会社ミノファーゲン製薬

13:00~13:50 一般演題 24 【間葉系・組織球系腫瘍 (1)】 抄録 P. 154

座長：古川 洋志 (愛知医科大学 形成外科)
林 礼人 (順天堂大学浦安病院 形成外科・再建外科)

D-8-1 筋肉内転移をきたしイマチニブで治療した隆起性皮膚線維肉腫の1例

神林由美¹ (かんばんやし ゆみ)、藤村 卓¹、天貝 諒¹、遠野久幸¹、相場節也¹、
笠原佑記²、綿貫宗則³
¹東北大学 皮膚科、²東北大学 腫瘍内科、³東北大学 整形外科

D-8-2 切除断端確保に難渋した頭頂部隆起性皮膚線維肉腫の1例

茜部穂波 (あかなべ ほなみ)、森章一郎、奥村真央、浦田 透、村上佳恵、横田憲二、
秋山真志、棚橋邦明、蛭沢克己
名古屋大学 皮膚科

D-8-3 後頭部に生じた histiocytic sarcoma の1例

寺井沙也加 (てらい さやか)、谷村裕嗣、大西早百合、四十万谷貴子、中丸 聖、
榎村 馨、清原隆宏
関西医科大学総合医療センター

D-8-4 小児の鎖骨部に生じた Angiomatoid fibrous histiocytoma 疑いの1例

坂本理佳¹ (さかもと りか)、種村 篤¹、井上栄美¹、坂本幸子¹、花岡佑真¹、藤本 学¹、
野島 聡²、森井英一²
¹大阪大学 皮膚科、²大阪大学 病態病理学

D-8-5* 左大腿に生じた平滑筋肉腫の1例

太田早紀 (おおた さき)、藤城里香、岩田真衣、今井聡子、山田元人
豊橋市民病院

D-8-6 左大腿背側に生じた cutaneous leiomyosarcoma の1例

川野正人¹ (かわの まさと)、持田耕介¹、黒木脩矢¹、小坂裕之²、北村 豪³、天野正宏¹
¹宮崎大学 皮膚科、²株式会社臨床宮崎、³きたむら皮膚科クリニック

座長：安田 浩 (産業医科大学 形成外科)

伊藤 孝明 (兵庫医科大学 皮膚科)

D-9-1

良悪の鑑別に苦慮した右下腿部の皮膚平滑筋肉腫の 1 例

中丸 聖¹ (なかまる せい)、四十万谷貴子¹、大西早百合¹、寺井沙也加¹、榎村 馨¹、
中筋一夫²、清原隆宏¹¹関西医科大学総合医療センター、²中筋診療所**D-9-2***

後頭部脂肪肉腫の 1 例

岩田真衣 (いわた まい)、藤城里香、太田早紀、今井聡子、山田元人
豊橋市民病院**D-9-3**

膝関節内側側副靭帯再建を要した脂肪肉腫の 1 例

田村 聡 (たむら さとる)、高木信介、清水崇史、門松香一
昭和大学藤が丘病院 形成外科**D-9-4**

右鼠径部に難治性潰瘍を呈した epithelioid sarcoma の 1 例

松村奈津子¹ (まつむら なつこ)、大塚幹夫¹、山本俊幸¹、金内洋一²、
ノーシャリナ シェイクスピア³¹福島県立医科大学 皮膚科、²福島県立医科大学 整形外科、³福島県立医科大学 病理診断科**D-9-5***

神経線維腫症 1 型患者に発症した悪性末梢神経鞘腫瘍の 1 例

森明日香¹ (もり あすか)、新熊 悟¹、安藤淳史²、光井康博¹、小川浩平¹、宮川 史¹、
桑原理充²、浅田秀夫¹¹奈良県立医科大学 皮膚科、²奈良県立医科大学 形成外科

座長：阿部理一郎 (新潟大学 皮膚科)

鶴田 大輔 (大阪市立大学 皮膚科)

- E-5-1** 胃癌術後 23 年目の皮膚に生じた印環細胞癌の 1 例
小島 豪 (こじま ごう)、金子高英、黒崎裕子、木村有太子、高森建二、須賀 康
順天堂大学浦安病院
- E-5-2*** ペムブロリズマブにより全爪甲の脱落を生じた 1 例
前田進太郎¹ (まえだ しんたろう)、松下貴史¹、谷内克成³、飯島将司²
¹金沢大学 皮膚科、²金沢大学 泌尿器科、³公立能登総合病院 皮膚科
- E-5-3** 免疫チェックポイント阻害薬により出現した皮疹の検討
大橋洋之¹ (おおはし ひろゆき)、竹内そら¹、宮垣朝光¹、門野岳史¹、伊澤直樹²
¹聖マリアンナ医科大学 皮膚科、²同 臨床腫瘍学
- E-5-4** 食道癌のニボルマブ治療中に多発した異型ケラチノサイト増殖性病変の 1 例
梅舟莉加¹ (うめふね りか)、加藤雪彦¹、田淵 悟²、梅林芳弘¹
¹東京医科大学八王子医療センター 皮膚科、²東京医科大学八王子医療センター 消化器外科
- E-5-5*** 母指の悪性黒色腫を疑った 1 例：基幹病院への受診に抵抗感を持つ患者に対する紹介元医院としての対応について
倉繁祐太 (くらしげ ゆうた)、倉繁田鶴子
倉繁皮膚科医院
- E-5-6** 当科における眼瞼部皮膚悪性腫瘍の切除および再建のアルゴリズム
安倍吉郎 (あべ よしろう)、橋本一郎
徳島大学 形成外科
- E-5-7** 高齢皮膚悪性腫瘍患者における術後せん妄への対応
都倉加保里 (つくら かほり)、小野田聡、木下雅人
香川労災病院 形成再建外科
- E-5-8** 進行期メラノーマ患者について血中循環腫瘍 DNA による治療効果予測の検討
芦田敦子 (あしだ あつこ)、御子柴飛鳥、中村謙太、木庭幸子、奥山隆平
信州大学 皮膚科

座長：多田 弥生 (帝京大学 皮膚科)
長谷川 稔 (福井大学 皮膚科)

- 7月10日(土)
- E-6-1** Acral/mucosal メラノーマ患者におけるがん遺伝子パネル検査の結果について
前田拓哉 (まえだ たくや)、豊島梨乃、中川智絵、日浦 梓、上原治朗、吉野公二
がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科
- E-6-2** 皮膚悪性腫瘍 9 例のがん遺伝子パネル検査結果とその後の治療選択
佐藤さゆり¹ (さとう さゆり)、加藤潤史¹、藤岡茉生¹、堀本浩平¹、室田文子²、
高田弘一³、宇原 久¹
¹札幌医科大学 皮膚科、²札幌医科大学 消化器内科、³札幌医科大学 腫瘍内科
- E-6-3** 顔面に生じたメラノーマ、基底細胞癌、有棘細胞癌における性別/年齢別の発症部位の解析
面高俊和 (おもだか としかず)、皆川 茜、奥山隆平
信州大学 皮膚科
- E-6-4** ダーモスコピー画像を用いた爪甲色素線条の非 AI 自動識別プログラムの性能
皆川 茜¹ (みながわ あかね)、古賀弘志¹、中村 厚²、宗田孝之²
¹信州大学 皮膚科、²早稲田大学理工学術院
- E-6-5** 乳酸による炎症性腫瘍から非炎症性腫瘍への誘導機序について
金丸 央 (かねまる ひさし)、水上裕加里、金子彰良、田川秀美、木村俊寛、
栗山春香、梶原一亨、福島 聡
熊本大学 皮膚科
- E-6-6** リンパ節移植という外科的リンパ系再構築法がもたらす局所免疫能についての検証～リンパ球の変化を捉える
前田 拓¹ (まえだ たく)、石川耕資¹、村尾尚規²、林 利彦³、古川洋志⁴、舟山恵美¹、
大澤昌之¹、山本有平¹
¹北海道大学 形成外科、²斗南病院 形成外科、³旭川医科大学 形成外科、
⁴愛知医科大学 形成外科
- E-6-7** Vandetanib は EGFR 阻害作用により皮膚有棘細胞癌の増殖を抑制する
北村真也 (きたむら しんや)、前田拓哉、柳 輝希、氏家英之
北海道大学 皮膚科

座長：天谷 雅行（慶應義塾大学 皮膚科）
奥山 隆平（信州大学 皮膚科）

LS9-1 化膿性汗腺炎に対する治療～外科的治療とアダリムマブによる治療を中心に～
山田勝裕（やまだ かつひろ）
秋田大学 皮膚科

LS9-2 壊疽性膿皮症の診断・治療アップデート
山中恵一（やまなか けいいち）
三重大学 皮膚科

共催：アッヴィ合同会社